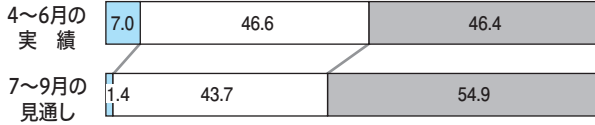


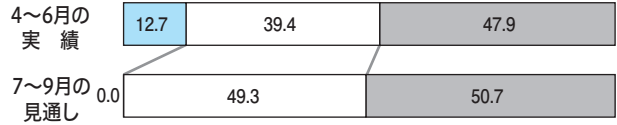
■ 製造業

回答企業数71企業(回答率98.6%)

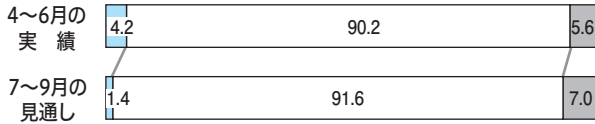
【業況】



【売上額】



【原材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは△39.4、前期比36.6%の大幅低下

項目別では、売上額判断D.Iが△35.2と前期比40.8%、収益判断D.Iでも△33.8と同比35.2%ともに大幅低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△45.1、前期比38.1%、同収益判断D.Iは△43.7、同比38.1%ともに大幅低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが1.4と前期比16.9%改善し、人手不足感が弱まりました。

また、前期比残業時間D.Iは△25.4と前期比21.2%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が38.0%（前期22.5%）、「予定あり」が26.8%（同9.9%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は9.9%（前期9.9%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が50.7%、「人手不足」が19.7%、「利幅の縮小」が14.1%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(7月▶9月期)

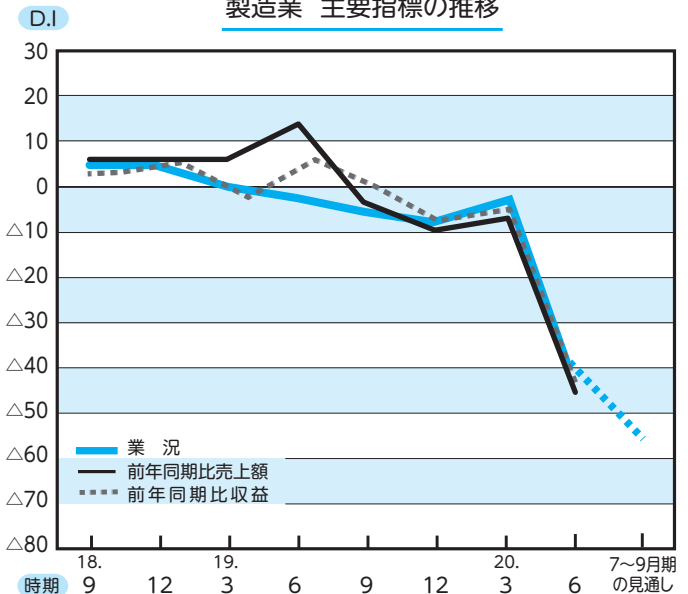
業況の見通し判断D.Iは△53.5、当期実績比14.1%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比15.5%、収益判断D.Iでも同比16.9%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比横ばいを見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比1.4%増加、残業時間D.Iは同比8.4%低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が49.3%、「販路を広げる」が47.9%、「人材を確保する」が26.8%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移

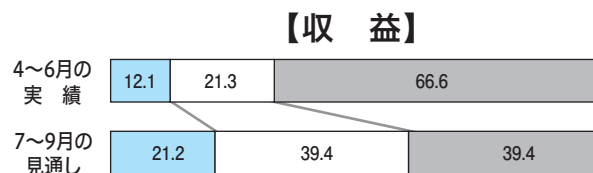
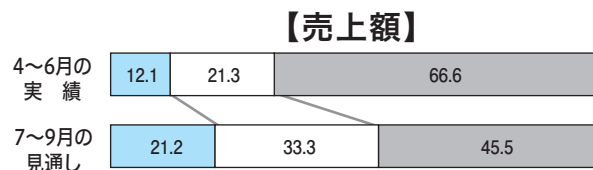
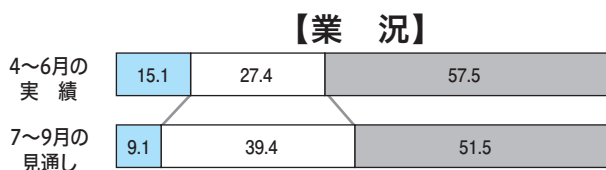


調査員のコメントから

中国経済減速の影響による受注減少に加え、新型コロナウイルスの影響を受けて平常時の売上に比べ50~60%減少している状況。今後の先行きにも不透明感が漂う。

■ 卸 売 業

回答企業数33企業(回答率100%)



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは△42.4、前期比18.2%の大幅低下

項目別では、売上額判断D.Iが△54.5と前期比12.1%、収益判断D.Iでも△54.5と同比12.1%ともに大幅低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△54.5、前期比21.2%、同収益判断D.Iは△48.5、同比12.1%ともに大幅低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが0.0と前期比9.1%改善し、人手不足感が弱まりました。また、前期比残業時間D.Iは0.0と前期比3.0%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が39.4%（前期21.2%）、「予定あり」が18.2%（同12.1%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は15.2%（前期12.1%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が54.5%、「同業者間の競争激化」が24.2%、「取引先の減少」が21.2%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(7月▶9月期)

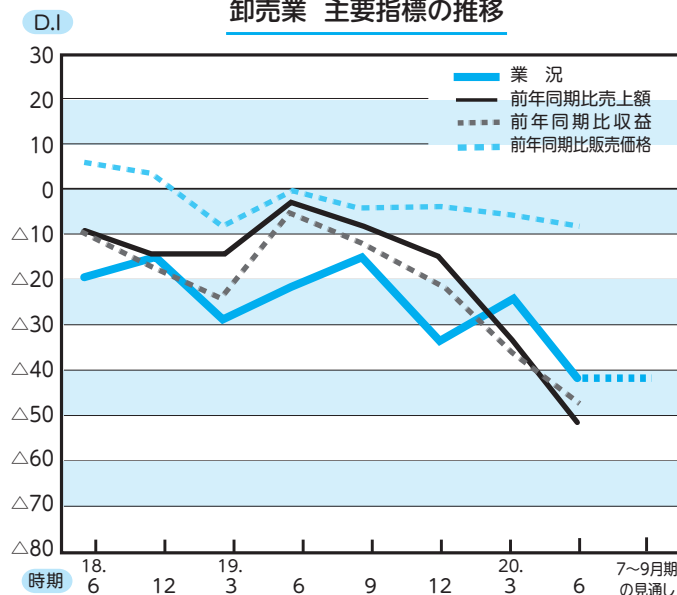
業績の見通し判断D.Iは△42.4と当期実績比横ばいの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比30.3%、収益判断D.Iでも同比36.3%ともに大幅改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iでは当期実績比横ばいを見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比6.1%、残業時間判断D.Iは同比6.1%ともに低下見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が66.7%、「経費の節減」が45.5%、「情報力の強化」が30.3%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



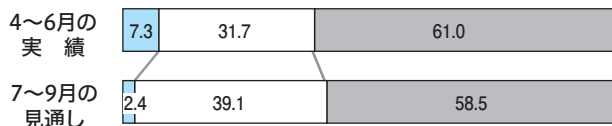
調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響により、取引店（小売業）の休廃業等が要因で売上が減少。また、在庫調整が難しい状況。

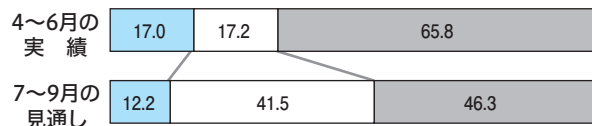
■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

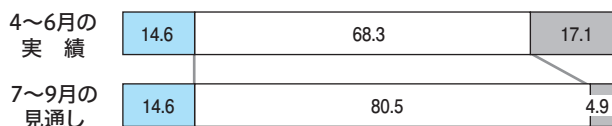
【業 況】



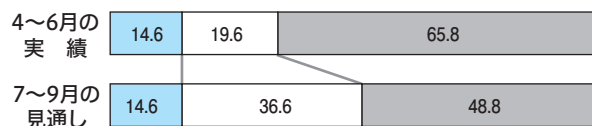
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い)

□ 変わらず(変化無し)

■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは△53.7、前期比38.7%の大幅低下

項目別では、売上額判断D.Iが△48.8と前期比41.3%、収益判断D.Iでも△51.2と同比51.2%ともに大幅低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△53.7、前期比33.7%、同収益判断D.Iは△51.2、同比38.7%ともに大幅低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△9.8と前期比0.2%改善し、人手不足感がやや弱まりました。また、前期比残業時間D.Iは△17.1と前期比12.1%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が24.4%（前期20.0%）、「予定あり」が19.5%（同12.5%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は7.3%（前期5.0%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が39.0%、「同業者間の競争激化」・「大型店との競争激化」がそれぞれ31.7%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(7月▶9月期)

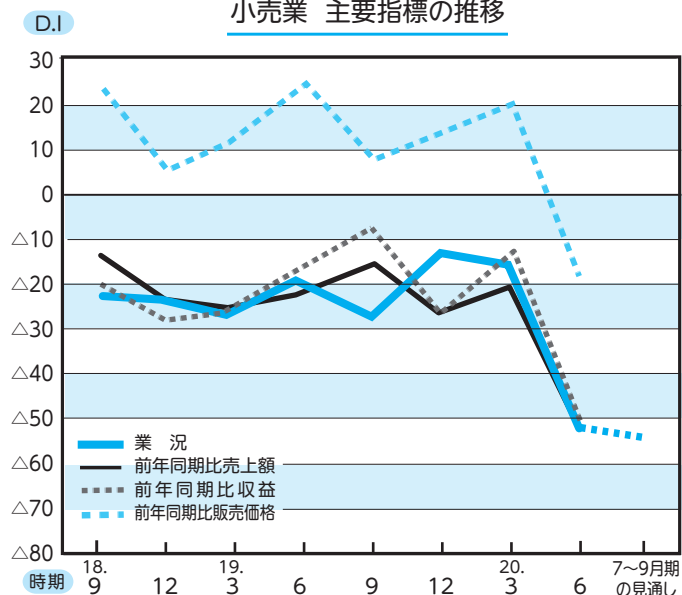
業況の見通し判断D.Iは△56.1、当期実績比2.4%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比14.7%、収益判断D.Iでも同比17.1%ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比19.5%の上昇を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比4.8%低下、残業時間判断D.Iにおいては同比4.9%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が68.3%、「品揃えを改善する」・「売れ筋商品の取扱」がそれぞれ24.4%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



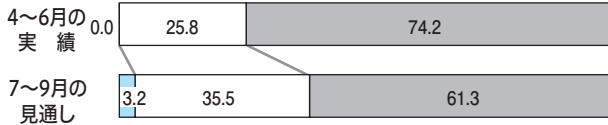
調査員のコメントから

新型コロナウイルスの感染拡大防止にて外出が自粛されたことから、食料品を中心に売上は堅調に推移している。しかし、不特定多数の顧客と接することから、従業員の不安は大きい。

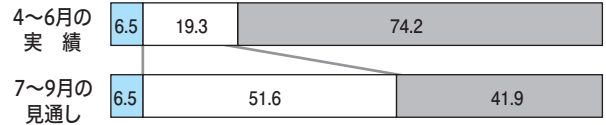
■ サービス業

回答企業数31企業(回答率100%)

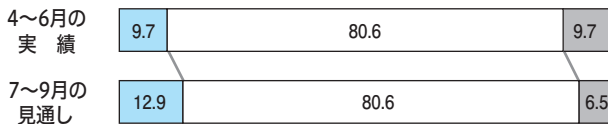
【業況】



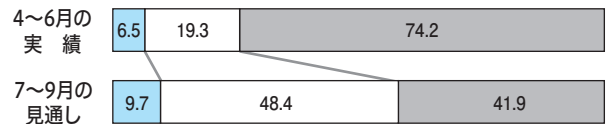
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは△74.2、前期比51.6%の大幅低下

項目別では、売上額判断D.Iが△67.7と前期比58.0%、収益判断D.Iでも△67.7と同比54.8%ともに大幅低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△71.0、前期比48.4%、同収益判断D.Iは△74.2、同比51.6%ともに大幅低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが9.7と前期比22.6%改善し、人手不足感が弱まりました。また、前期比残業時間D.Iは△35.5と前期比35.5%低下となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が25.8%（前期19.4%）、「予定あり」が29.0%（同16.1%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は9.7%（前期9.7%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が45.2%、「同業者間の競争激化」が38.7%、「人手不足」が19.4%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(7月▶9月期)

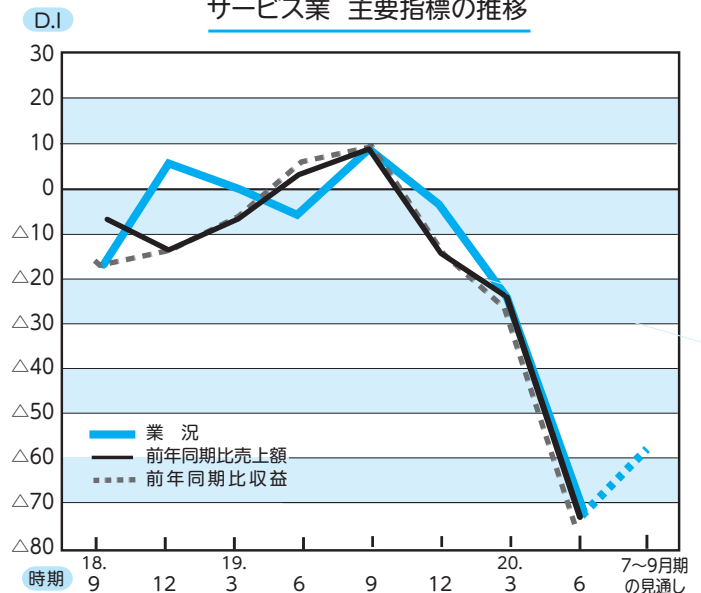
業況の見通し判断D.Iは△58.1、当期実績比16.1%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比32.2%、収益判断D.Iは同比35.4%ともに大幅改善の見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比6.5%の改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比6.5%低下、残業時間判断D.Iでは同比16.1%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が45.2%、「経費の節減」が41.9%、「宣伝・広告の強化」・「人材を確保する」がそれぞれ19.4%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



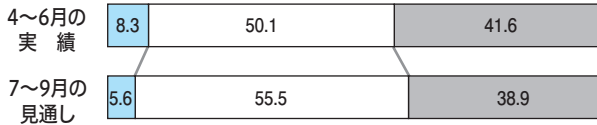
調査員のコメントから

新型コロナウイルスの感染拡大により、予約のキャンセルが相次いでいる。また、営業活動の自粛により売上は大幅に減少しており、今後の売上予想がたたない状況。

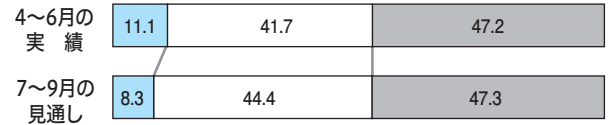
■ 建設業

回答企業数36企業(回答率100%)

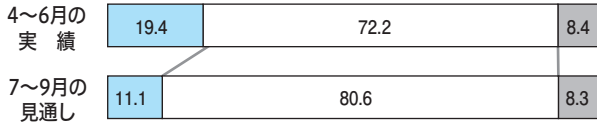
【業況】



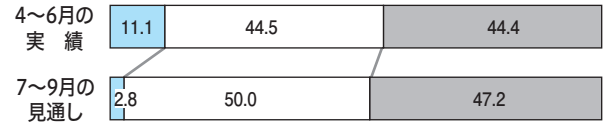
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは△33.3、前期比52.7%の大幅低下

項目別では、売上額判断D.Iが△36.1と前期比58.3%、受注残判断D.Iでも△27.8と同比38.9%ともに大幅低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△41.7、前期比44.5%、同収益判断D.Iでも△41.7、同比27.8%ともに大幅低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△13.9と前期比13.9%改善し、人手不足感がやや弱まりました。また、前期比残業時間D.Iは△11.1と前期比16.7%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が38.9%(前期36.1%)、「予定あり」が25.0%(同25.0%)を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は5.6%(前期13.9%)となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が36.1%、「売上の停滞・減少」が33.3%、「利幅の縮小」が27.8%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(7月▶9月期)

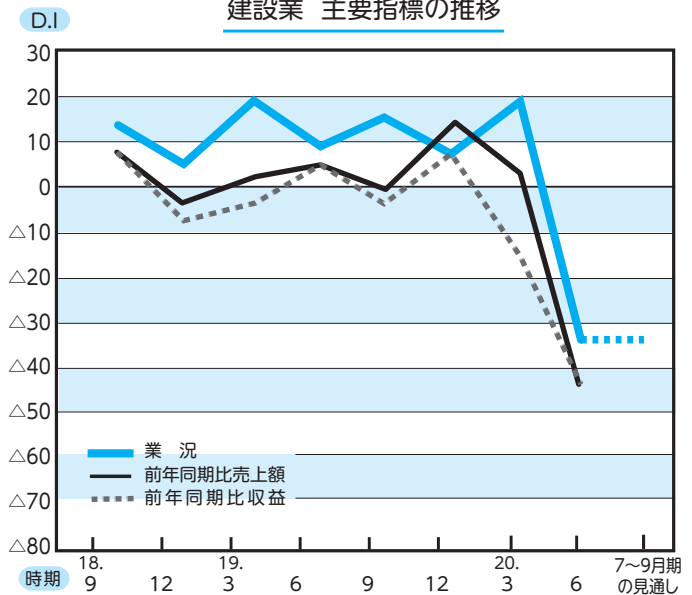
業況の見通し判断D.Iは△33.3、当期実績比横ばいの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比2.8%、収益判断D.Iでも同比11.1%ともに低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比8.3%の低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.8%低下、残業時間判断D.Iは同比2.8%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が50.0%、「販路を広げる」が41.7%、「人材を確保する」が36.1%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移

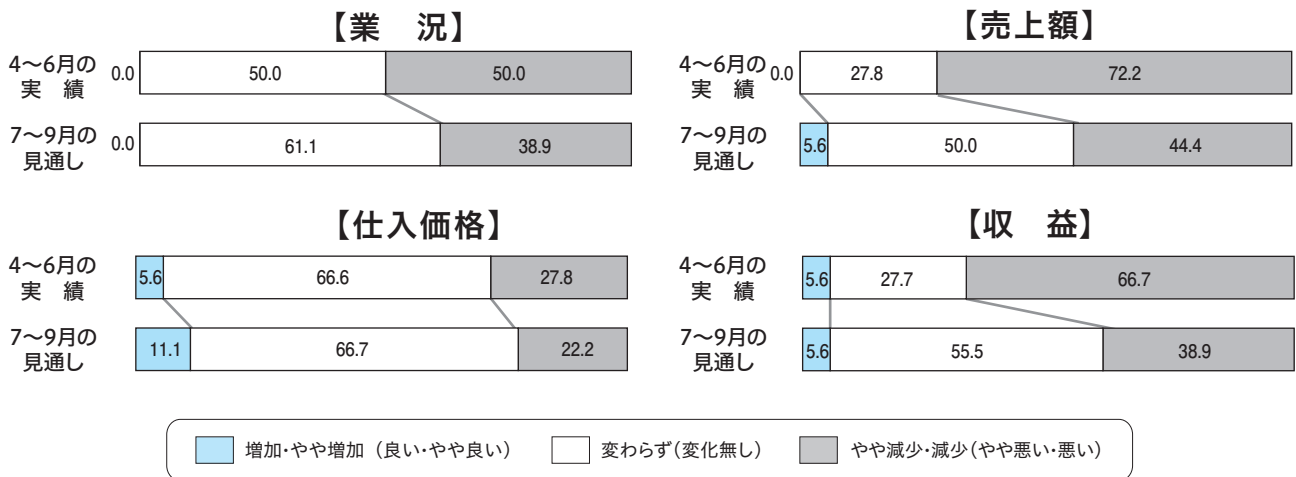


調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響で、建築資材の入荷遅れや工期の延長が発生している。

■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)



景況天気図

概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは△50.0、前期比50.0%の大幅低下

項目別では、売上額判断D.Iが△72.2と前期比83.3%、収益判断D.Iは△61.1と同比66.7%ともに大幅低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△61.1、前期比72.2%、収益判断D.Iは△50.0、同比50.0%ともに大幅低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△22.2と前期比11.1%改善し、人手不足感がやや弱まりました。また、前期比残業時間D.Iは△22.2と前期比22.2%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が22.2%（前期22.2%）、「予定あり」は22.2%（同11.1%）を示しています。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が44.4%、「同業者間の競争激化」が27.8%、「商品物件の不足」が22.2%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(7月▶9月期)

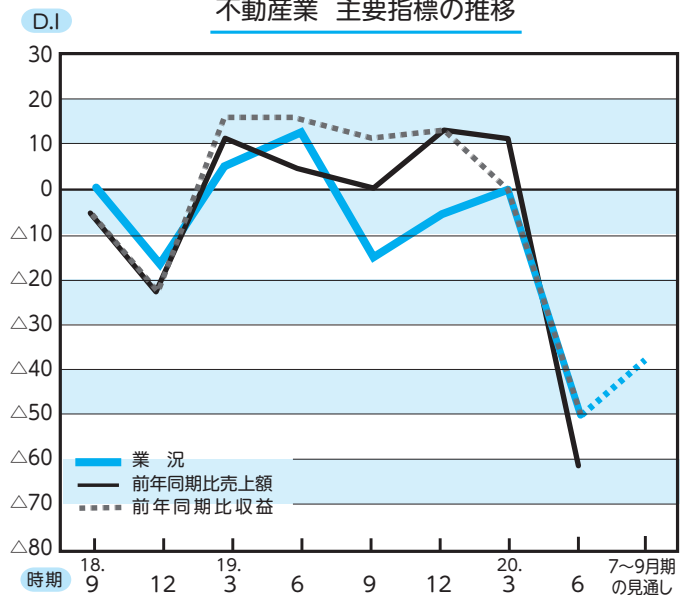
業況の見通し判断D.Iは△38.9、当期実績比11.1%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比33.3%、収益判断D.Iでも同比27.8%ともに大幅改善を見込んでおります。また、販売価格判断D.Iは当期実績比22.2%の大幅改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比0.0、残業時間D.Iは同比5.5%改善の見通しとなっています。

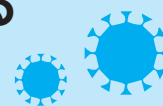
当面の重点施策では、「販路を広げる」が55.6%、「経費の節減」が38.9%、「宣伝・広告の強化」が33.3%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響は、不動産売買取引に関してさほど無い。しかし、入居者の収入減少が家賃滞納者の増加に繋がるのではないかと懸念される。

特別
調査新型コロナウイルスの感染拡大による
中小企業への影響について

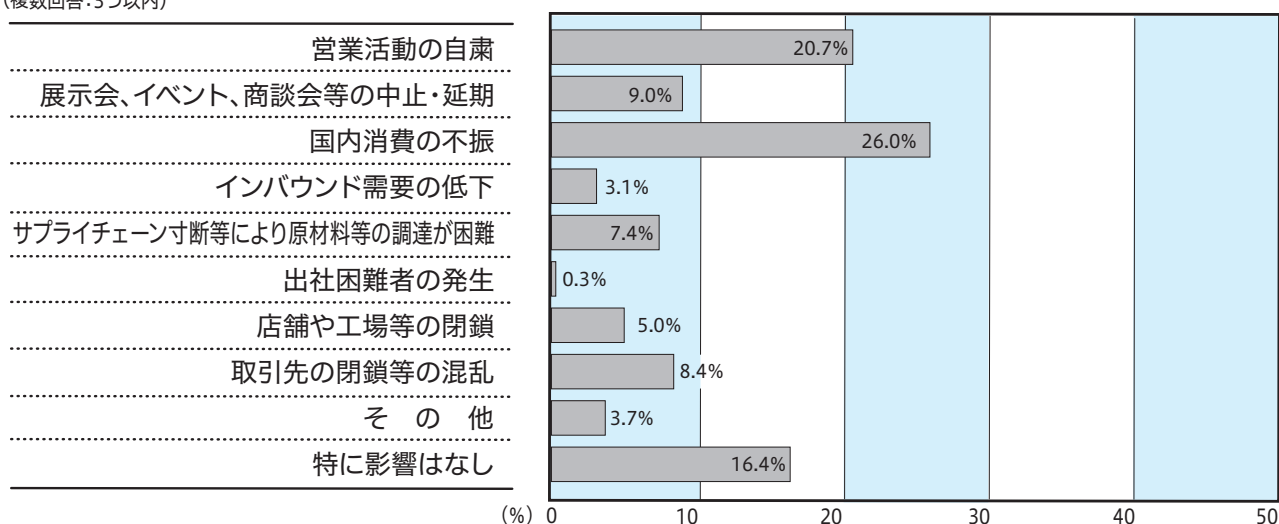
「新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業への影響」について調査を実施しました。

「貴社の事業活動は、新型コロナウイルスによる影響を受けていますか」の質問に対し、「国内消費の不振」との回答が26.0%と最も多く、次いで「営業活動の自粛」との回答が20.7%という結果となりました。

そのほか、「新型コロナウイルス感染拡大を受けて、貴社ではどのような対応をとられていますか」を、次のように取り纏めました。

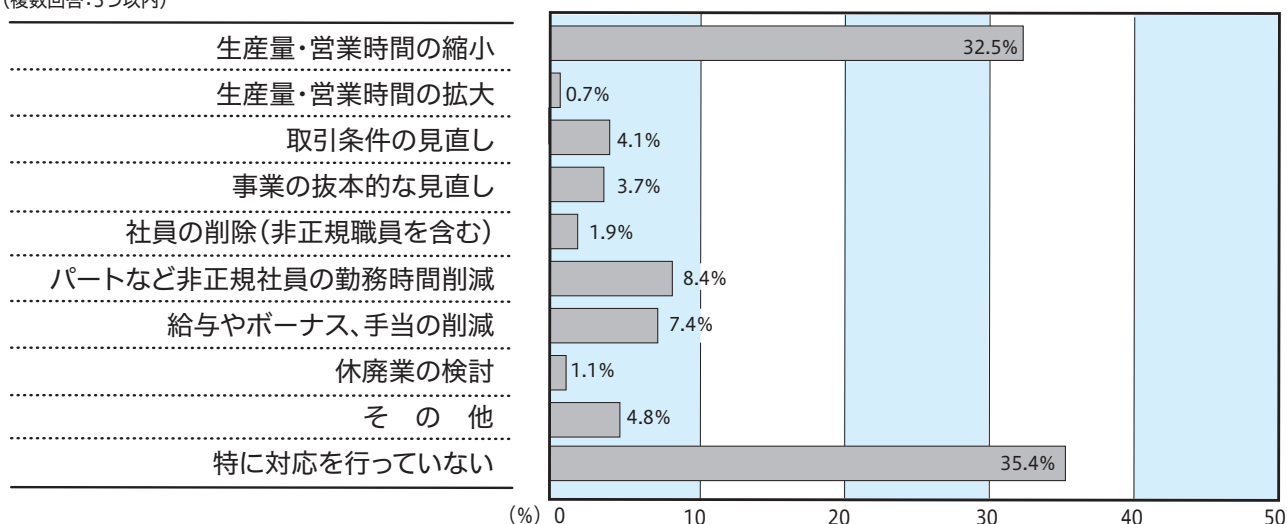
問1 貴社の事業活動は、新型コロナウイルスによる影響を受けていますか。

(複数回答:3つ以内)



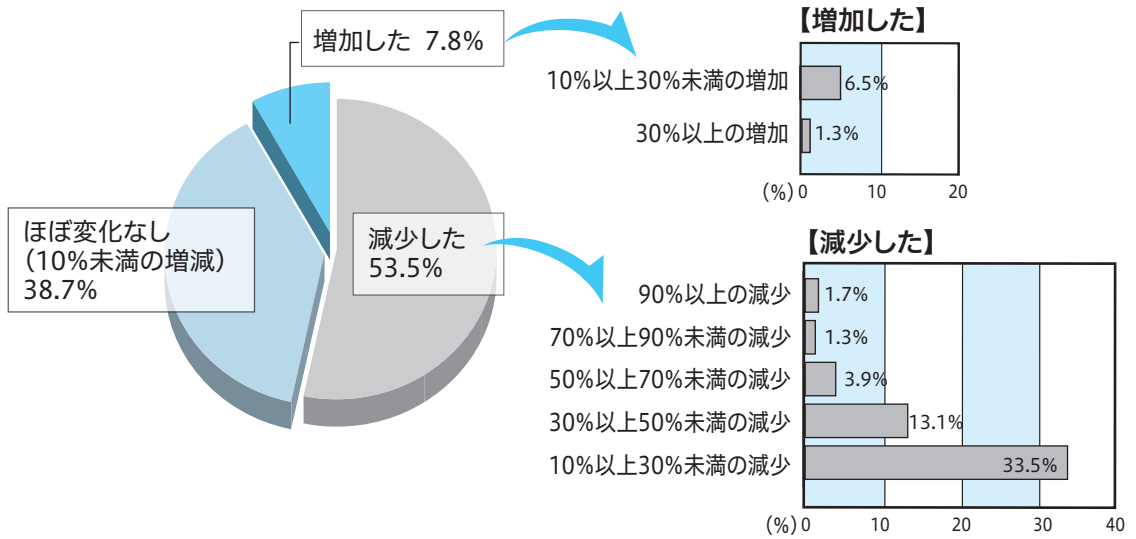
問2 新型コロナウイルス感染拡大を受けて、貴社ではどのような対応をとられていますか。

(複数回答:3つ以内)



問3

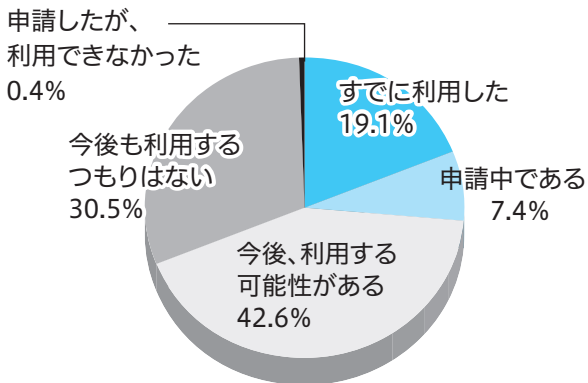
貴社における今期(4~6月)の売上は、仮に新型コロナウイルスの影響がなかった場合(例年の4~6月)と比較して、どの程度変化しましたか。



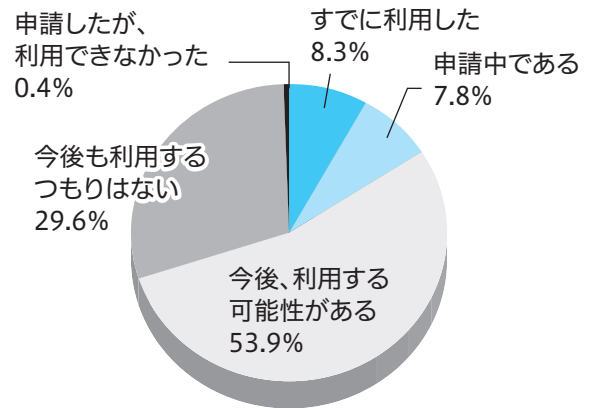
問4

貴社では、危機関連保証や制度融資など、新型コロナ対応の資金繰り支援制度を利用しましたか。また、資金繰り以外の政府による支援策(補助金、休業補償、減税、納税猶予など)を受けましたか。

新型コロナ対応の資金繰り支援制度(割合)



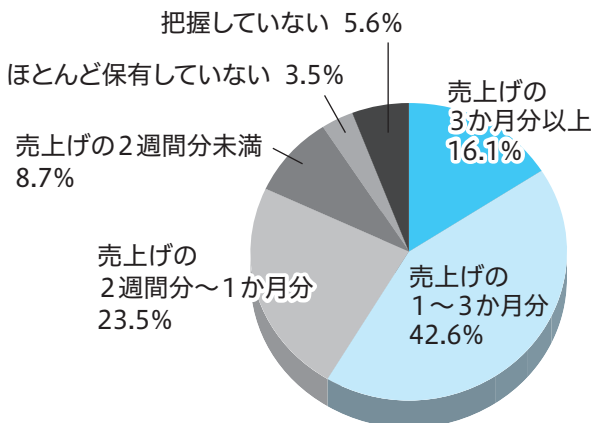
政府による支援策(割合)



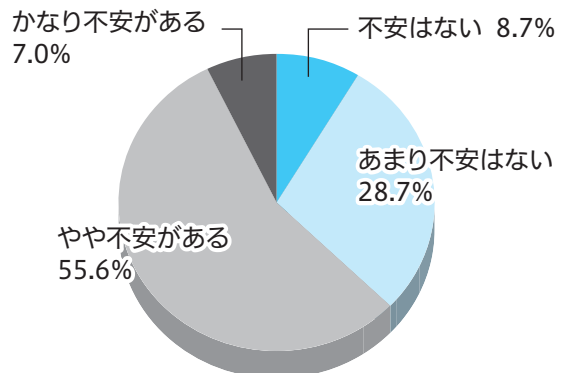
問5

災害や急な不況の対策として、常時、手元の流動性資金の確保をされていると思いますが、新型コロナウイルスの影響が出る以前、現預金をどの程度保有していましたか。また、2020年中の資金繰りについて、どうお考えですか。

現預金の保有程度(割合)



2020年中の資金繰り(割合)



提携事業所にお勤めのみなさまへ

職域サポート契約制度

職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。



下記の
ローン商品の金利を
店頭表示金利から

年1.50%
引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

提携事業所は、次のいずれかの要件も満たすものとします。

- ①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業主（従業員数5名以上）であること。
- ②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

ご利用いただける方

（右記の条件をすべて満たされる方）

- 契約先の代表者、役員または従業員の方
- 申込時の年齢が20歳以上の方
- 保証会社の保証が得られる方

職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

一般個人ローン  ご融資金額 500万円以内 ご利用期間 10年以内	ブライダルローン  ご融資金額 500万円以内 ご利用期間 10年以内	カーライフプラン  ご融資金額 500万円以内 ご利用期間 10年以内
教育プラン  ご融資金額 500万円以内 (*1) ご利用期間 10年以内 (*2)	子育て応援プラン  ご融資金額 100万円以内 ご利用期間 10年以内	リフォームプラン  ご融資金額 1,000万円以内 ご利用期間 15年以内

(*1) 6年制大学の場合は1,000万円以内
 (*2) 6年制大学の場合は16年以内

商品の詳しい内容につきましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。
 ※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。
 また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。



結城信用金庫

<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>

QRコードを読み取っていただくと結城信用金庫のホームページにアクセスできます。



— 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。
 皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地
 TEL(0296)32-2110 FAX(0296)33-0414
<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>